

2013. 11. 15 第39号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
<http://www.kunikusa.or.jp/>

題字 升味 美佐子様

秋晴れの中、今年もふかわ・くにくさ恒例の秋祭りが行われました。来場された方々はバイキングや屋台で、こだわりのご馳走を楽しまれた。本格的な石見神楽を鑑賞されました。秋祭りに関わった全ての職員も、祭りを楽しんでいる方々に接することで、多くの喜びを頂くことができました。

秋祭りは古くから、各々の地域で秋の風物詩として広く知られており、何かしらの形でわたし達の心の中にあるものだと思います。そのため、秋祭り特有の雰囲気は何かを思い出させてくれたり、何かを感じさせてくれます。今回の秋祭りに参加して得られた何かしらの気持ちが、一人ひとりのゆたかな生活につながってくれることを願っています。





平成25年度
スウェーデン
研修を終えて...

8月17日から2週間スウェーデンにて研修を受けさせていただきました。ホームステイをはじめ、日本とは違う生活様式や文化に戸惑いを覚えることがありました。何より、言葉の通じない環境のなかで、どうやってコミュニケーションをとれば自分の伝えたいことが相手に通じるのか、また、どうすれば相手の伝えたいことが理解できるのか試行錯誤の毎日でした。身振り手振りをつけたり、相手の表情やしぐさを見ながら話を聞き、分からないなりに会話は成立していたように思います。また、自分の思いは何かしらの表現をしないと伝わらないと



いうことを学べたように思います。この貴重な経験を無駄にせず今後活かしていきたいと思っています。

今回スウェーデン研修で一番印象に残っている事はご利用者が自立した生活を送る環境が整っていると感じた事です。スタッフの関わり方もとても勉強になりましたがご利用者一人ひとりがすすんで出来る事を見つけておられました。車椅子を使われた方が安全な方でもスタッフに支えられながら頑張つて歩行器で歩いておられました。私もそういったケアが出来る介護士を目指して頑張っていきたいと思えます。



10月29日から11月8日までスウェーデン交流研修が行われた。ボロース市で老人福祉について教育されておられるマリアさんによる「コンタクトマン制度」についての講義と介護現場で働くカリナさん、サラさんは直接現場に入り指導された。マリアさんの講義は、1クール3日間で3回に分けて約80名が受講した。スウェーデンにおいてのコンタクトマン制度の目的や役割についての講義であった。現場での指導は、言葉は通じなくても、ケアを通じ心を通わす事が出来たし、何より自身のケアを振り返ることが出来た。

この研修を通じて得たものは国の制度や風土の違いはあっても、ケアの基本は相手を尊重する事です。ご利用者に生きていて良かった、残りの人生に喜びを感じていただくために、私達は本人を理解しようと心から接していくことの大切さを確認した。心と心の通う接し方、「本人が中心」のケアが提供出来るように、学んだ事を実践して行きます。

スウェーデン講師
マリアさん来日

切さを確認した。心と心の通う接し方、「本人が中心」のケアが提供出来るように、学んだ事を実践して行きます。





救命講習会

AEDを使用した、年1度の救命講習です。腕を曲げずに、しっかり体重をかけて心臓マッサージをするのがコツです。



消火器を使ったミニ研修

消火器を使った研修です。しっかり火をめがけて～！意外とみんなの前で緊張します (^_^;)



避難訓練

消防署指導の下、訓練を行います。緊張しますが、職員は真剣そのもの。皆様の命を守ります。

くにくさ秋の防災運動

防災委員会では、防災訓練マニュアルに基づいた防災訓練、普通救命講習の受講、自衛消防大会への参加、施設内での防災ミニ研修の実施など年間スケジュールに基づき活動しています。災害はいつどこで起こるか分かりません。日頃からの備え、訓練の実施が大切になってきます。今後とも防災に関する意識を少しでも高めてもらうよう日々活動していきたいと思っています。



自衛消防大会

年に一度ある、消防大会。施設を代表しての参加です。練習を重ねて、毎年参加しています。



くにくさソーラン隊

あと会では毎年、敬老の日にご利用者様、地域の方々に新人職員がソーラン節を披露するという恒例行事があります。

今年も9/15(日)に阿戸福祉センター、くにくさ苑、りは・くにくさでソーラン節を披露させていただきました。当日には、たくさんの方に「よかったよ」と声援が飛び交い、本当に踊ってよかったと新人職員一同、感極まる思いでいっぱいでした。

ソーラン節を踊るにあたり、多くの人から声援や指導して頂き、本当に感謝しています。みなさん本当にありがとうございます。

新人ソーラン隊からのコメント!!

私は最初の頃練習に出れなくて、みんなより遅れをとり不安でした。本番まで練習を重ね、当日は仲間と楽しく踊ることができました。
(くにくさ苑 介護職 梅本 千尋)

ご利用者の喜ばれている姿を見て達成感を感じました。また、ご指導頂いた先輩方への感謝の気持ちでいっぱいです。
(くにくさ苑 栄養課 宗岡 ひかる)

練習が始まった当初は、踊りを覚えるのが大変で不安もありました。ご利用者の笑顔や「よかったよ」という言葉が何よりも嬉しく感じました。
(りは・くにくさ 介護職 中城 小百合)





介護の知恵袋

でじま・くにくさに 留学生が!



カタリーナ
カンケ
ドイツ出身

- ①なぜボランティア先に日本を選んだのか
子供の時から日本が好きで、日本語を勉強している間に日本に行きたいと思えました。
- ②日本の介護現場のイメージ
お年寄りさんが親切で丁寧なイメージ。
- ③今後働いていく中で経験したい事
- ④日本の生活への不安や期待
お年寄りの日本語が分からない事が不安。日本人とお話をする事を期待している。
- ⑤自己紹介
カタリーナ・カンケ
18歳 牛井・天ぶらが好き
- ⑥でじま・くにくさの印象
とても広く、きれいな施設で驚きました。
- ⑦これからの抱負
ドイツに帰国したら大学へ行き、日本語を勉強したい。
- ⑧滞在中、挑戦したいこと
毎日、新しい言葉を勉強したい。

たくさんの人と接して、人の役に立ちたい。

職員紹介

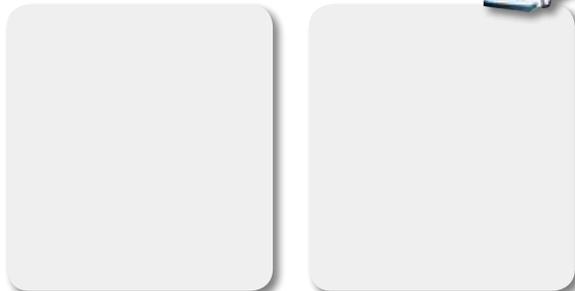


あと会グループ
新フード開発プロジェクト
スーパーバイザー
佐藤 俊郎

経歴
ホテルセンチュリー21広島 料理長
東京電力業務用電化厨房体験 料理長
施設 昭和40年10月23日生 料理長
血液型O型

東京から単身赴任で広島に戻ってまいりました。料理人一筋29年の経験を活かし、あと会グループに貢献できればと思っております。皆様、宜しく願います。

いきいきバス旅行2013



今年も、毎年恒例のバスハイクが11/3に開催されました。今年もグリーンピア瀬戸内に行きました。バスの中では、クイズゲームをしながら笑い声が飛び交います。到着後に、まず集合写真。最初は、緊張の面持ちですが、徐々に表情も緩やかに。笑顔の写真が取れました。その後は、食事をして皆さんお待ちかねの大眾観劇。人情物の劇で良かったと満足げな表情が見られました。お土産を買う方もおられ、また来年も！と皆さん満足された一日となりました。

年賀寄附金配分事業完了のお知らせ

この度、日本郵便株式会社から、平成25年度デイサービスセンターに利用者が送迎用車両の増備事業において、年賀寄附金の配分を受け事業を完了しました。ここに事業完了の報告を申し上げますとともに、日本郵便株式会社を始めご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



編集後記

11月になり、冬の足音が少しずつ聞こえてまいりました。徐々に体調を崩しやすい時期になってきましたが、皆さまは体調のほうはいかがでしょうか？

さて、この2カ月も様々な動きがありました。スウェーデン研修に参加した職員も一回り大きくなって帰ってきました。そして、留学生のカンケさんの受け入れなどもあり、あと会全体にまた新しい風が吹いています。

もちろん、毎年恒例のふかわ・くにくさ秋祭り、通所サービスでのいきいきバス旅行も開催されました。私達職員にとって皆様の笑顔を見ることが一番の喜びです。そして、その笑顔を見ると、自然と職員も笑顔になっていきます。

12・1月の行事予定

12月 クリスマス
もちつき

1月 元旦祝賀会
初詣
鏡開き

このほかにも、毎月ショッピング、コンサート、誕生日会を行っています。